

[6] 2009年3月 宮城県立図書館 仙台領国絵図 調査報告

Pictorial Maps of Sendai Domain in the collection of Miyagi Prefectural Library

宮城県立図書館国絵図調査所見
通常・赤外線撮影写真比較

荒井経
荒井経

宮城県図書館 仙台領国絵図 調査所見

東京学芸大学 荒井 経

調査対象図 宮城県立図書館国絵図

No.1 [仙台領国絵図]元禄 12 年 (KD290-セ 3・29) 888×535cm

No.2 [仙台領国絵図]元禄 12 年 (KD290-セ 5・29) 888×535cm

No.4 [仙台領国絵図]元禄 14 年 (KD290-セ 14) 516×841cm

No.49 元禄 14 年 陸奥国仙台領海際絵図 KD290-ム 1・M1-2

調査日：2009 年 3 月 26 日

調査方法：通常光写真と赤外線写真の比較(赤外線写真は、SONY 社製 CyberShot に IR80 フィルターを装着し、night shot モードで撮影した。)

調査所見

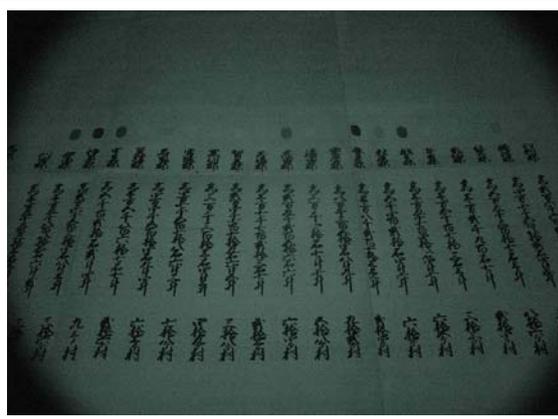
- ・仙台領国絵図No. 1、No.2、No. 4（すべて元禄年間）ともに使用されたと推測される色料に特別な所見はなかった。（例 海川は、目視と赤外線撮影の結果から藍または藍具と推測された。）
- ・No. 4 では、胡粉および胡粉が混色された（具）の部分の剥落が著しく、文字が読めない村形も多かった。→なぜ彩色前の紙の素地に下書きを施さないのか？
- ・雁皮紙に描かれたNo. 1 と楮紙に描かれたNo. 4 では、やや発色が異なった。赤外線撮影の結果からは、柴田郡の村形に使用された色料が異なることが推定された。
- ・差戻されたNo. 1、No. 2 は、海岸線などの外形と国・海など大面積の彩色が酷似しており、同時作業で作られた可能性が考えられた。但し、村形に微妙な色差が見られること、山や樹木の箇所や彩色に差が見られることから、細部については別々の画工や場所によって制作されたことが窺われた。
- ・差戻されたNo. 1 と改訂版のNo. 4 では、同じ色彩に彩色する方向性が窺われるものの、混色のバランスや濃度の相違が見られた。
- ・No. 1、2、4 において、村形の楕円の輪郭線が臙脂色であった。（これまでの調査では黒色であった。）これについては、幕府の指示が関与しているのかが問題であるが、幕府の指示図（写し）が臙脂色か黒色かについて確認することを失念した。
- ・際絵図に見られる境界線の切り抜きは、これまでの調査で推測していたえんぷた（マスクング）法による彩色を後押しするものと考えられた。
- ・海岸線を示した淡彩の絵図からは、海岸線の下書き（墨の細線）とえんぷたのズレが観察された他、航路や道・一里塚の下書き線の様子が観察でき、国絵図の制作工程を知る有益な情報が得られた。

宮城県立図書館蔵仙台領国絵図
No.1 元禄12年図 仙台領国絵図(KD290-セ3-29)

通常写真



赤外線写真



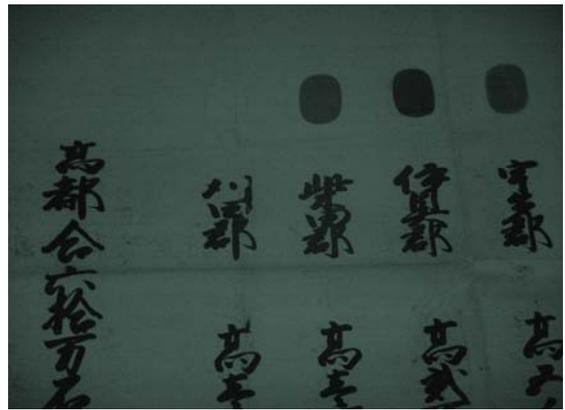
桃生郡村形＝白緑を含む？。気仙郡村形＝灰系だが墨は含まない。江利郡村形＝藍具(淡)。村形の輪郭が臙脂色(No.2, 4も同様)。幕府指示本の確認が必要。



志田郡村形＝白緑具。登米郡村形＝緑青を含む。



宇多郡村形＝墨を含む？。黒川郡村形＝藍具(濃)。



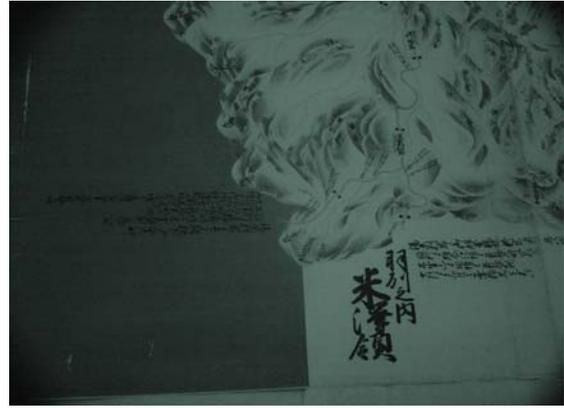
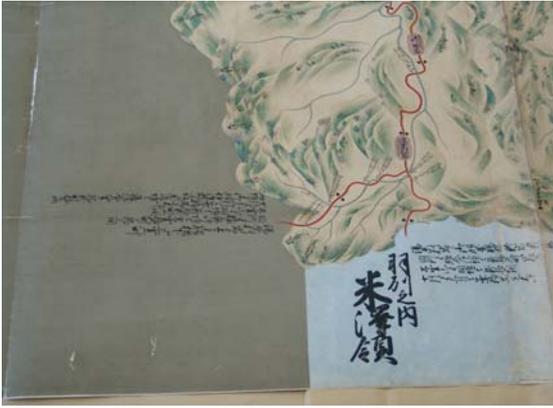
柴田郡村形＝白緑を含む？伊具郡村形＝白緑。



海は藍系



白緑青を混色で濁らせた色か。



米沢領の彩色=藍具



樹や山のぼかしに緑青多用



印

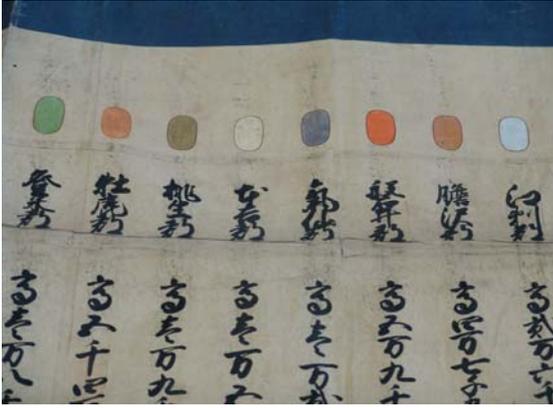
樹葉の緑青がはっきりと黒っぽい

No.2 元禄12年図(未修理)仙台領国絵(KD290-セ5-29)

No.1とほとんど変わらない(国色は極似だが、村形はNo.1に比べるとやや薄い)

通常写真

赤外写真



↑江利郡村形がNo.1より薄い藍具



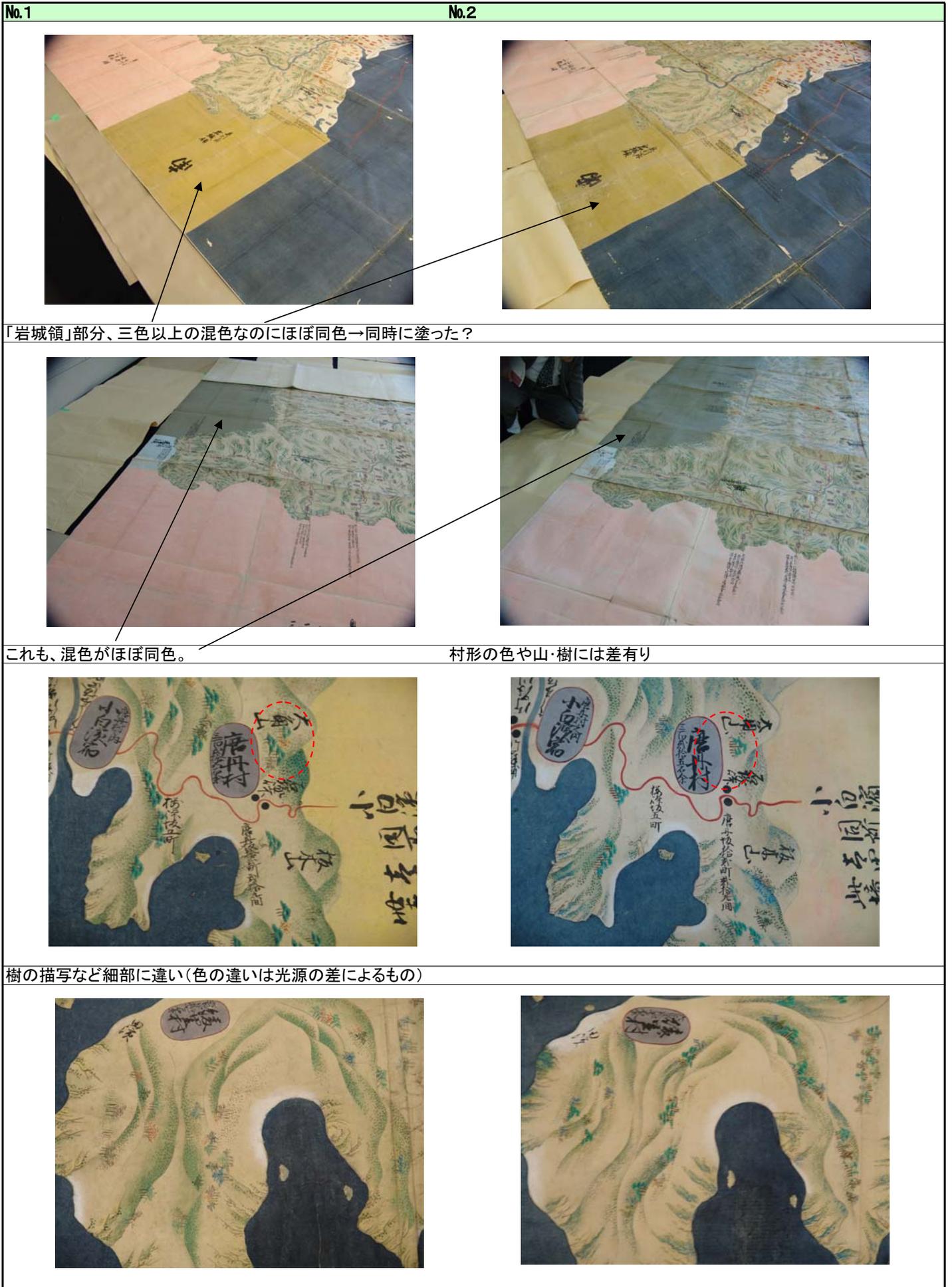
破損箇所

破損箇所(通常写真)



←裏打ち

No.1とNo.2 同年献上本の照合



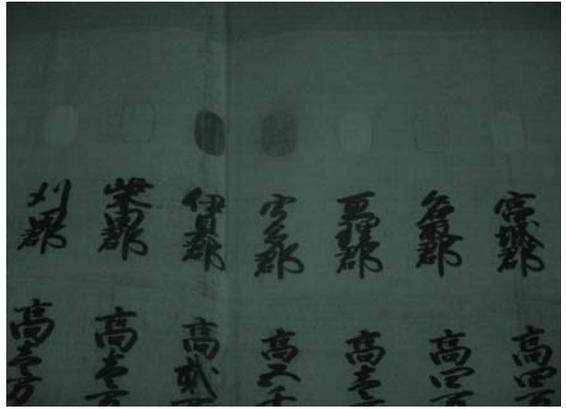
No.4 元禄14年仙台領国絵図(KD290-セ14)

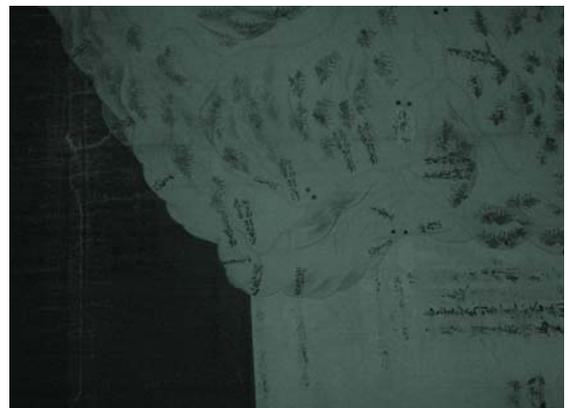
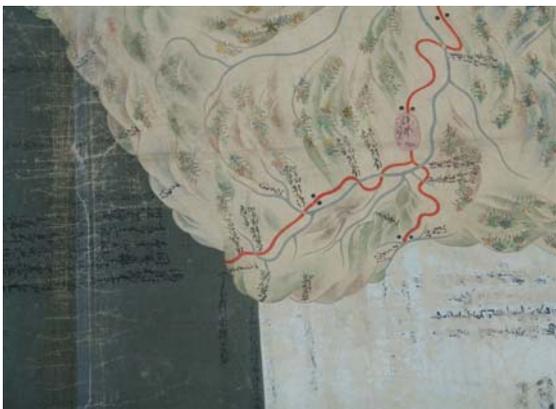
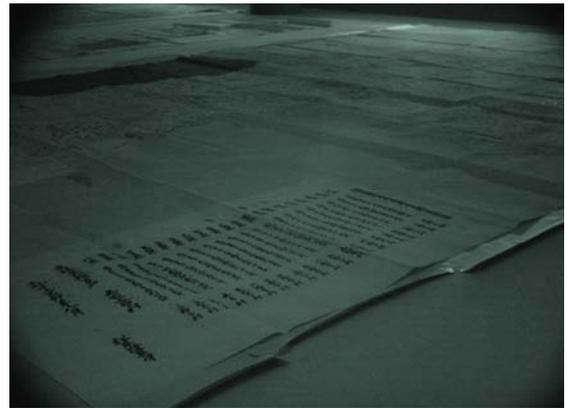
通常写真

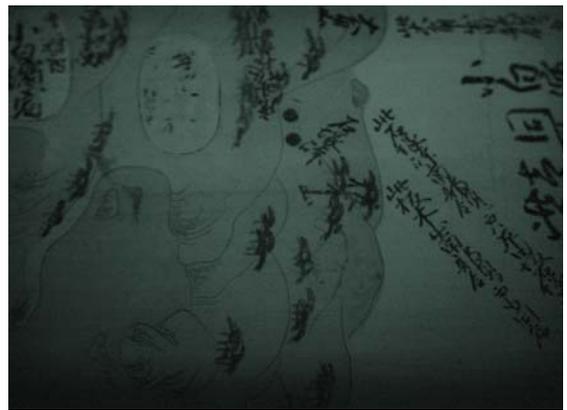
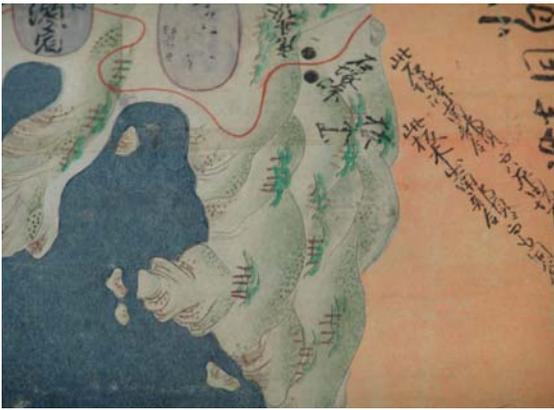
赤外線写真



村形は濃淡があるものの、元禄12年本を踏襲。国色も同系だが差有り。

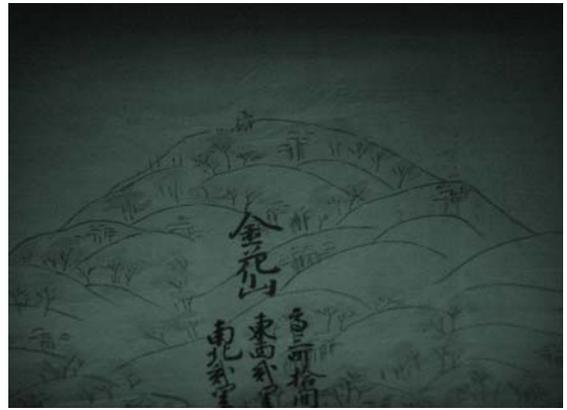






49元禄14年 陸奥国仙台領海際絵図 KD290-ム1・M1-2
通常写真

淡彩であるため、えんぶたのズレや下描き線など制作工程が窺われる。
赤外線写真



藍と草汁のみの彩色
通常写真

通常写真



えんぶたのズレ

えんぶたのズレ